

男鹿市条例第9号

男鹿市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

男鹿市道路占用料徴収条例（平成17年男鹿市条例第180号）の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

別表（第2条関係）

物件		単位	占用料 (円)
法第32条第1 項第1号に掲げ る工作物	第1種電柱	1本につき	430
	第2種電柱	1年	670
	第3種電柱		900
	第1種電話柱		390
	第2種電話柱		620
	第3種電話柱		850
	その他の柱類		39
	共架電線その他上空に設ける線類		長さ1メー
	地下に設ける電線その他の線類	トルにつき 1年	2
	路上に設ける変圧器	1個につき 1年	380
	地下に設ける変圧器	占用面積1 平方メー トルにつき 1年	230
	変圧塔その他これに類するもの及び公衆電話所	1個につき	780
	郵便差出箱及び信書便差出箱	1年	330
	広告塔	表示面積1 平方メー トルにつき 1年	590
その他のもの	占用面積1 平方メー トルにつき 1年	780	
法第32条第1 項第2号に掲げ る物件	外径が0.07メートル未満のもの	長さ1メー トルにつき 1年	16
	外径が0.07メートル以上0.1メートル未満のもの		23
	外径が0.1メートル以上0.15メートル未満のもの		35
	外径が0.15メートル以上0.2メートル未満のもの		47
	外径が0.2メートル以上0.3メートル未満のもの		70
	外径が0.3メートル以上0.4メートル未満のもの		93

		外径が0.4メートル以上0.7メートル未満のもの		160	
		外径が0.7メートル以上1メートル未満のもの		230	
		外径が1メートル以上のもの		470	
法第32条第1項第3号に掲げる施設	自動運行補助施設	法第2条第2項第5号に規定する自動運行装置による検知の対象として設置する導線その他の線類	地下に設けるもの	長さ1メートルにつき1年	2
			その他のもの		8
		道路の構造又は交通の状況を表示する標示柱その他の柱類	1本につき1年	620	
		その他のもの	上空に設けるもの	占用面積1平方メートルにつき1年	390
			地下に設けるもの		230
		その他のもの		780	
法第32条第1項第4号に掲げる施設			占用面積1平方メートルにつき1年	780	
法第32条第1項第5号に掲げる施設	地下街及び地下室	階数が1のもの	平方メートルにつき1年	Aに0.004を乗じて得た額	
		階数が2のもの		Aに0.006を乗じて得た額	
		階数が3以上のもの		Aに0.007を乗じて得た額	
		上空に設ける通路		290	
		地下に設ける通路		180	
	その他のもの		780		
法第32条第1項第6号に掲げる施設	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの		占用面積1平方メートルにつき1日	6	
	その他のもの		占用面積1平方メートルにつき1月	59	
令第7条第1号に掲げる物件	看板（アーチであるものを除く。）	一時的に設けるもの	表示面積1平方メートルにつき1月	59	
		その他のもの	表示面積1平方メートルにつき1年	590	
		標識	1本につき1年	620	

	旗ざお	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの	1本につき 1日	6
		その他のもの	1本につき 1月	59
	幕（第7条第4号に掲げる工事用施設であるものを除く。）	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの	その面積1 平方メートルにつき1 日	6
		その他のもの	その面積1 平方メートルにつき1 月	59
アーチ	車道を横断するもの	1基につき 1月	590	
	その他のもの		290	
令第7条第2号に掲げる工作物			占用面積1	780
令第7条第3号に掲げる施設			平方メートルにつき1 年	Aに0.031 を乗じて得 た額
令第7条第4号に掲げる工事用施設及び同条第5号に掲げる工事用材料			占用面積1	59
令第7条第6号に掲げる仮設建築物及び同条第7号に掲げる施設			平方メートルにつき1 月	78
令第7条第8号 に掲げる施設	トンネルの上又は高架の道路の路面下に設けるもの		占用面積1 平方メートルにつき1 年	Aに0.017 を乗じて得 た額
	上空に設けるもの			Aに0.017 を乗じて得 た額
	地下（トンネルの上の地下を除く。） に設けるもの	階数が1のもの		Aに0.004 を乗じて得 た額
		階数が2のもの		Aに0.006 を乗じて得 た額
		階数が3以上のもの		Aに0.007 を乗じて得 た額
その他のもの			Aに0.025 を乗じて得 た額	

令第7条第9号に掲げる施設	建築物	Aに0.022を乗じて得た額
	その他のもの	Aに0.015を乗じて得た額
令第7条第10号に掲げる施設及び自動車駐車場	建築物	Aに0.022を乗じて得た額
	その他のもの	Aに0.015を乗じて得た額
令第7条第11号に掲げる応急仮設建築物	トンネルの上又は高架の道路の路面下に設けるもの	Aに0.022を乗じて得た額
	上空に設けるもの	Aに0.022を乗じて得た額
	その他のもの	Aに0.031を乗じて得た額
令第7条第12号に掲げる器具		Aに0.025を乗じて得た額
令第7条第13号に掲げる施設	トンネルの上又は高速自動車国道若しくは自動車専用道路（高架のものに限る。）の路面下に設けるもの	Aに0.022を乗じて得た額
	上空に設けるもの	Aに0.022を乗じて得た額
	その他のもの	Aに0.031を乗じて得た額
令第7条第14号に掲げる施設		Aに0.031を乗じて得た額

備考

- 1 「令」とは、道路法施行令（昭和27年政令第479号）をいう。
- 2 1件の料金が100円に満たないときは、100円とする。
- 3 「第1種電柱」とは、電柱（当該電柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。）を支持するものを、「第2種電柱」とは、電柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、「第3種電柱」とは、電柱のうち6条以上の電線を支持するものをいうものとする。
- 4 「第1種電話柱」とは、電話柱（電話その他の通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。）を支持するものを、「第2種電話柱」とは、電話柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、「第3種電話柱」とは、電話柱のうち6条以上の電線を支持するものをいうものとする。

- 5 「共架電線」とは、電柱又は電話柱を設置する者以外の者が当該電柱又は電話柱に設置する電線をいうものとする。
- 6 「表示面積」とは、広告塔又は看板の表示部分の面積をいうものとする。
- 7 Aは、近傍類似の土地（第7条第8号に掲げる施設のうち特定連結路附属地に設けるもの及び同条第13号に掲げる施設について近傍に類似の土地が存しない場合には、立地条件、収益性等土地価格形成上の諸要素が類似した土地）の時価を表すものとする。
- 8 表示面積、占用面積若しくは占用物件の面積若しくは長さが0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満であるとき、又はこれらの面積若しくは長さに0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満の端数があるときは、その全面積若しくは全長又はその端数の面積若しくは長さを切り捨てて計算するものとする。
- 9 占用料の額が年額で定められている占用物件に係る占用の期間が1年未満であるとき、又はその期間に1年未満の端数があるときは、月割りをもって計算し、なお1月未満の端数があるときは1月として計算し、占用料の額が月額で定められている占用物件に係る占用の期間が1月未満であるとき、又はその期間に1月未満の端数があるときは、1月として計算するものとする。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 改正後の男鹿市道路占用料徴収条例（以下「新条例」という。）施行の際現に道路法（昭和27年法律第180号）第32条第1項若しくは第3項の規定による許可を受け、又は同法第35条の規定による協議が成立して存する占用物件（この条例施行の日以後に当該許可又は協議が更新された場合を含む。以下「継続占用物件」という。）に係る令和5年度の占用料の額については、新条例第2条の規定を適用して算定した占用料の額が、当該継続占用物件に係る前年度の占用料の額（令和5年度分の占用料を算出する場合において、令和4年度中に占用を開始した継続占用物件については、実際の占用期間にかかわらず令和4年度1年分の占用料に相当する額とする。）に1.2を乗じて得た額（以下「調整占用料額」という。）を超える場合には、新条例第2条の規定にかかわらず、当該調整占用料額をもって当該占用料の額とする。